

平成27年12月17日



成長ホルモン分泌刺激試験で入院される（

）さま

主治医は、_____です
 病棟師長は、_____です
 担当看護師は、_____です

	入院当日	入院2日目	入院3日目	退院日
月・日・曜日	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
食事・栄養	特に食事内容の制限はありません。しかし、 検査前夜の21時から翌日の検査終了後までは、絶飲食 となります。 ただし、水・お茶は飲んでも構いません。 検査終了時には食事が出ますので、低血糖にならないように必ず食べて下さい。食事摂取量が少ない場合は追加点滴となります。			昼食を食べてから退院下さい。
安静度	検査中は成長ホルモンのバランスが崩れるため、眠らない程度に安静にしておいて下さい。(眠ってしまうと検査結果が正確になりません) 消灯時には就寝をお願いします。それ以外には、特に制限ありません。			
清潔	入浴できます。検査後は、点滴した部分が濡れないように看護師が保護します。			帰宅後は入浴できます。
検温	検査前及び検査中に検温します。 体調が思わしくない場合は、お知らせ下さい。			
	翌日からの検査のために血管確保を させていただく場合があります。 (検査人数が少ない場合は検査当日に行います。)	・点滴が入っている所を痛がったり、不機嫌になるなど、普段と違う様子があればすぐに看護師に申し出て下さい。 ・点滴が入っている所は、曲げたり、押さえたり、引っ張るなど、激しく動かさないようにして下さい。		検査終了後、点滴の針を抜きます
検査	入院当日 必要に応じて左手のレントゲン検査を行う場合があります。 看護師の指示をお待ちください。 検査中は、ご家族の付き添いはなくても構いません。 検査場所は、ナースステーションの場合や病室の場合など、検査を受ける方の人数によって異なります。その都度お知らせします。 検査は午前9時ころから開始し、検査内容によって異なりますが、2時間程度かかります。その間、一定時間ごとに採血する検査です。 点滴を行っているルートからの採血ですので、順調にいけば痛みを伴うことはありませんが、点滴が漏れたり詰まった場合は刺し直しとなります。	尿検査(検査初日のみ)、血液検査などがあります。 1回目・2回目入院で検査内容異なります。 薬の種類により副作用出現します。(眠気・吐気・元気がないなど...)		
説明・指導	看護師による説明と身長・体重測定 (入院までの経過・病状などをお伺いします。 本日の予定・入院中の日課・病棟案内 等)	Drの指示のもと、検査メニューが決まります。 ・アルギニン負荷テスト — 30分間くすりを点滴する方法 ・グルカゴン負荷テスト — 皮下注射での検査方法 ・インスリン負荷テスト — 静脈注射での検査方法 ・グロニジン(カタプレス)負荷テスト — ・L-ドーパ(ドパストン)負荷テスト — 内服薬です		医師による説明 ・検査結果は、2週間後以降にお知らせします。必ず事前に外来に電話をして予約をお願いください。 ・結果を聞きにこられる際は、ご家族の方のみで結構です。 TEL:082-241-3111(代表) 小児科外来へお電話ください。

* 体調の変化が特になければ、予定どおり検査を行います。ご不明な点がございましたら、担当看護師におたずね下さい。

2012年4月作成 広島赤十字・原爆病院 小児科